

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 9 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491500181		
法人名	医療法人 紅萌会		
事業所名	グループホーム春		
所在地	広島県福山市王子町1-4-5 (電話) 084-973-3131		
自己評価作成日	令和5年6月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3491500181-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年8月31日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>近隣には、公園、大型スーパーなどがあり利便性が良く、外出の機会を持てる場所です。コロナ禍の時期でも、外出は出来ませんでした。季節行事にて支援させて頂きました。医療面でも福山記念病院が協力機関であり、併設の介護老人保健施設ピープル春秋苑があり24時間、緊急時の対応が出来ます。職員はご入居者、ご家族の気持ちに寄り添いケアにあたるよう情報共有に努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>医療法人という強みをケアに活かしており、医師、看護師、リハビリ職員、栄養士などの意見や助言、支援方法を一緒に考えチーム支援に尽力している。ホームが目指すべき理念及び方針を明確化し、毎年度、4つの目標を掲げ取り組んでいる。家族の協力のもと、法事への参加、自宅への帰省や外食など新型コロナウイルス感染症に見合った工夫をしている。同敷地内に老人保健施設とデイケアが併設されており、老人保健施設で月2回開催している『ふらっとサロン』の参加により、地域との交流が出来る環境である。研修体制の充実や行事委員など各委員会を充実し、楽しみを増やす取り組みとして、バラ公園などへの外出支援を充実する事で利用者の方に喜んでもらえるように支援している。今年度の取り組みとして、利用者のアセスメントを深める目的でICTの活用により、記録の効率化を実現し支援の充実を図っている。</p>

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員のネームの裏に入れており意識しながらケアにあたっている。	理念をもとに事業所方針、ねらい、取り組みを明確にし、4つの年間目標を掲げ取り組んでいる。月1回の全体会議、各フロアー会議に唱和することで目指すべきケアを念頭に意識統一を行っている。リビングやトイレなどに掲示し、日頃から意識するために職員のネームの裏に記載している。	4つの目標を掲げて取り組んでいるが、振り返りが出来ていない状況が見受けられます。今後は、評価、振り返りをする事で日頃から意識づけできる体制づくりを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	以前は月に1度公園の草取りに職員が参加し交流していたが今は参加できていない。日常的には交流は難しい。	町内会に加入している。以前は毎月の町内会清掃活動に参加をしていた。ホーム目の前が公園のため、散歩時に利用者と一緒に草取りなど清掃活動をしている。法人として実習生の受け入れや、併設の老人保健施設で月2回開催している『ふらっとサロン』に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は推進会議等で認知症についての勉強会を行っていたこともあった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナが5類引き下げになってから推進会議再開し生活状況は報告しているがあまり意見はでない。	新型コロナウイルス感染状況に応じて書面会議や対面会議を開催していたが、令和5年3月から対面会議を継続している。特にコロナ禍なので他の事業所の情報を得ながら、面会方法や外出方法など事業所として出来る事を実現できるようにしている。	現在は議事録を公表しておらず、家族への情報が共有されていない。今後は議事録を送付する案等、会議録公表に取り組み、家族の意見が運営に一定反映されるようにフィードバック出来る体制づくりを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市役所の方は現在、推進会議にも参加されておらず。	市との連携は、各フロアーの管理者がやり取りをしている。事故報告書やケア内容の報告を提出し、助言を頂くこともある。新型コロナウイルス感染症に対しては必要時は保健所への相談、指導を受けている。ホームでの空き状況などは地域包括支援センター職員へ伝えている。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員は毎年身体拘束のWEB研修を各自で行っている。月1回身体拘束防止委員会を開いている。新人職員が入社された時には身体拘束となりうる事を伝えている。</p>	<p>コロナ禍前は法人として全体研修を開催していたが、現在は各フロアで年1回のWEB研修を通して、知識習得や職員のスキルアップに繋げて、身体拘束をしないケアを目指し取り組んでいる。毎月の委員会を開催し、自己検証することで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>声掛けや態度、気付いた時には注意し、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在は後見人制度を利用されている方はいないが以前入居していた方で初めて対応した。必要な方がおられれば都度対応していく。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には全て読み上げ、都度不明点はないか伺っている。また分からない事があれば電話して頂けるよう声掛けも行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>今のところ意見が出たことはないがご家族からの意見があった時には検討していく。</p>	<p>日頃の状況はLINE(SNS)や電話などで報告している。意見や要望については、連絡ノートや担当者会議、プラン変更時など随時話し合いをしている。苦情や不満など直接事業所に言いにくいこともあり、法人として、老人保健施設や病院、居宅介護支援事業所への相談窓口を設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に面談や、全体会議、各階のカンファレンス等で職員の意見を聞き検討している。</p>	<p>家庭と仕事の両立ができるように目指している。最低年2回の個別面談を実施している。各階のカンファレンスを開催し、職員ごとの考えや意見の取りまとめを行っている。法人として、資格取得の斡旋、業務を工夫することで休憩が取れるようになった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務希望を考慮したり、勤務形態については本部へ確認を行い職員の希望にそえるようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎月個々にWEB研修を行っている。法人外の研修には行けていない。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>法人外との交流は全くできていないがコロナが5類に引き下げになったこともある為、外部への訪問もしていきたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族に聞き取りを行い安心してGHで過ごしていただけるよう、席の配置等決めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>契約時や荷物を持って来られ時などに要望や不安を伺うようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご利用者が現在どのような支援を必要とされているのか？ご家族に意見を聞きながらケアプラン作りをしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>他入居者、職員と家庭的な雰囲気の中でコミュニケーションを取りながら過ごしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>定期的に変った事、様子を報告し対応策を相談しながらケアしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>手紙が届いたり電話をつないだり、コロナ禍にはご家族とLINE電話をしていただいていた。</p>	<p>家族からの情報、生活歴、日頃の会話などから把握している。知人や教え子、元学校の先生が訪問している。手紙や電話の取り次ぎ、携帯電話の持ち込みも可能で家族とも自由に連絡できる環境である。コロナ禍において、家族の協力のもと、感染対策をしながら外食、法事など外出している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の性格や言動を把握し席位置を決めており一緒にゲームをしたり話をしたりと関われるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	あまりないが退居後、様子を伺ったり入居先や病院職員からの問い合わせに応じている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者との何気ない会話や表情から思いを汲み取ったり、ご家族へ意向を伺っている。	利用者の普段の様子、会話で得た情報、意向は連絡ノートやケース記録で職員間で共有している。法人として、記録の効率化、アセスメントを深める目的で、ICTを活用している。意思表示が難しい方は、日頃の行動や表情などで受け止め、常に利用者主体で考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご利用者のご家族に生活歴、趣味をお聞きし入居されてからはご利用者からお聞きし職員で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の様子を記録し、申し送り等で情報共有に努めている。バイタル測定や食事摂取量、表情等で健康状態を把握している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご利用者、ご家族それぞれ意向を伺い職員、医師、薬剤師、から意見、助言から支援方法を考えプラン作成している。</p>	<p>担当職員が日頃の状況を集約し、利用者・家族の意向を踏まえ、計画作成者が介護計画原案を作成している。本人や家族の意向から主治医、薬剤師、看護師、栄養士などの所見から担当学会議を開催している。併設の老人保健施設のリハビリ職員から歩行器の選定、助言などを受ける体制がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>プランに基づいた支援状況を個別で記録し問題点・気づきを話し合い、計画の評価見直しを活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>病院受診の付き添いや買物サービスに応じている。面会が出来なかった時にはLINE電話を活用していた。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>家族参加の行事開催しご利用者、ご家族と楽しんで頂ける会を開催した。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月2回訪問診療を利用中。今はおられないがご家族希望で他科受診される事も。訪問歯科も利用中。</p>	<p>利用開始時に希望を聴いているが、週2回の訪問診療や連絡体制が整っていることもあり、利用者の大半が事業所の協力医である。他の専門医の受診などは家族の協力のもと支援を行っている。必要に応じて薬剤師との相談体制、歯科の訪問診療を受ける事が出来る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	定期的に併設施設の看護師が健康管理にきている。看護師と連携をとり助言をもとに病院受診するようにもしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中には洗濯物を取りに行き看護師から状態を聞き相談しながら早期退院が出来るように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合における指針を作成し家族から同意を得ている。	利用開始時に家族への説明を行い、重度化した場合は事業所として出来ること、出来ないことを家族へ説明をしている。重度化や医療処置が必要な場合、その都度家族や医療関係者と方向性をよく話し合い、看取りの時期になれば併設の老人保健施設での対応としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的には行えていない。急変があった後にはその時対応した職員から話を聞き情報共有し次回の課題を話し合っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、併設している老健と合同で消防訓練を実施している。職員の役割担当を決めて地域の方にも参加していただいている。	法人からの応援体制もあり、年2回の訓練時は併設の老人保健施設と合同で訓練を実施している。水、食料など備蓄に関しては、3日分準備している。有事の際には事業所が地域の避難所になる可能性があるため、町内会や民生委員の方に参加の声掛けをしている。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	施設全体の研修やプライバシーの研修を通じて日々話をしている。一人ひとりに応じた声掛けや対応をしている	年1回の全体研修、年間研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制がある。利用者に対して人生の先輩として意識をもって日々対応している。職員は居室に入る時はノックをするなど当たり前の行動ができるようにしている。記録物に関しても第三者が目につかないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者の思いや希望を言うことができる関係作りをしている。ご利用者の思いに添って生活ができるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の流れはだいたい決まってはいるが希望を伺い過ぎて頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご利用者やご家族の希望があれば外部から理容師が来所されているため依頼して希望に添える様にしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	自分で食べる事が出来るよう滑り止めのマットをひいたり滑りにくいお椀をしようしている。出来る方には食器洗いやお米をといていただいたりしている。	おかずは併設の老人保健施設の厨房から届き事業所で盛り付けをしている。行事時には様々な食事を企画しており、牛丼、ちらし寿司などのメニューがある。各ユニットで献立に合わせた食器類を選定し、時にはデリバリーで持ち帰り、握り寿司など食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者一人ひとりにあった形状で提供している。水分量が少ない方には定期の時間以外にも飲み物を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声掛けを行い自分で出来ない方には介助を行っており、出来る方も仕上げ磨きをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し介助の必要な方、声掛けの必要な方にはそれぞれ対応しトイレでの排泄に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレに行ける方は紙おむつでなく、布パンツを基本に本人の状態像に合わせた排泄の自立支援を行っている。2階ユニットは各居室にトイレの設置があり、3～4階ユニットは3カ所ある。利用者個々の行動パターンを把握しながら定期的な声掛け、トイレ誘導を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの対応は違うが、飲み物の工夫や歩行運動等に取り組んで排便のコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間帯はだいたい決まっているがその中の希望を聞きながら入浴して頂いている。毎日入浴している方もおられる。</p>	<p>なるべく湯船に浸かって頂く方針により、必要時は2人介助を行い、週2～3回の入浴をしている。本人が好む、シャンプー、石鹸など自由に持ち込みができる。ヒートショック予防で脱衣場にエアコンを設置している。希望があれば毎日入浴も可能であり、入浴剤や柚子湯など季節湯を楽しまれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	食後、希望がある方は休まれている。毎週シーツ交換を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の効能書き、副作用の注意点をファイルし職員が理解し服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴や趣味を把握して日々の生活に取り入れている。家事、編み物等され過ごされる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナもあり日常的には行えていなかったが、散歩で隣の公園に行ったり、本人の希望でご家族と住んでおられた家に行ったりしている。	気候が良ければ、ホーム目の前の公園に出掛けている。本人や家族の外出希望も個々に対応し、令和5年6月以降は感染対策を取って家族対応での外出、外食、法事など出掛けている。行事委員を中心に季節毎の外出日を年3回設け、『お花見、菊花展、バラ』などに出掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人が持ってないと不安な方は持っているが基本的にはご家族が管理している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があればご家族へ電話している。手紙のやり取りも支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有空間はゆったりとしたスペースがあり季節を取り入れた飾りつけをして心地よく過ごせるようにしている。</p>	<p>各ユニットの玄関には季節が感じられる装飾品を飾っている。リビングの窓も大きく、明るい雰囲気の利用者と職員が共同作成した季節の飾りつけをしている。会話が弾むように椅子やソファを設置し、利用者の状態に応じて、テーブルの位置、席の配置などレイアウトを工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ご本人の希望で居室に戻ったり、リビングで過ごしたりと思いい思いに過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた物や好みの物を置かれたり家族の写真等を飾られ居心地よく過ごせる居室となっている。</p>	<p>利用開始の際は事前にレイアウトを確認し、なるべく同じ部屋になるように、使い慣れた物、家族の写真など生活習慣にも配慮し、安心して過ごして頂けるよう工夫している。家族から『一人でトイレに行って欲しい』との要望から居室内でつたい歩きが出来るように居室内の家具をレイアウトした成功例もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室の家具の配置を個々に変えている。自力でトイレがいけるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念と基本方針が、ぶれないように職員ネームの裏に書かれており、常に意識しながらケアにあたり、会議の時は読み上げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	クリーン作戦として、月に1度公園の花壇草取りを行う。入居者の方と感染対策し実施。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2ヶ月に1回運営推進会議を開き、現状の報告等を報告し、認知症の理解を求める取り組みを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在のGHでの状況、対応等の報告を行い、外部の方の意見を聞き、質の良いケア、サービス提供を出来るように努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事故報告提出時など施設ケア内容を報告し、助言頂くこともある。日頃からの連絡は取れていない。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修(Web)を行い、各自で正しい知識を身につけ、職員同士で共有し、身体拘束のないよう努めている。月1回は身体拘束委員会を開いている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	各自Web研修にて学習し再認識している。職員同士声掛け、ケアの方法等注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	個々の必要性を理解し、支援が必要と思われる入居者が居る場合、アドバイスを情報提供者にしている。現在は成年後見人制度を利用している入居者はいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前に来て頂き、施設の取り組みや方針を説明している。契約時には契約書、重要事項説明書を読み上げ、質問を受けながら、ご理解納得された上で契約を交わしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ緩和に伴い、徐々に面会を再開している。引き続きLINEや電話も活用しながら、要望など伺う。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の各ユニットカンファレンス、3ユニット合同の全体会議で意見交換している。課題発生時にはその都度意見を出し合い、対応検討している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	時間外労働の削減、業務改善の為、話し合い、働きやすい職場作りを心掛けている。個人の希望を出来るだけ取り入れ各自に応じた勤務の工夫を心掛けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員個々の業務実績、状況を把握した上で、研修及び資格修得の機会を確保し、働きながら実践を勧めている。その為の勤務調整、情報提供を心掛けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今までコロナの為、同業者との交流は出来ていない。研修はWebにて実施し、レポートを提出している。コロナ緩和に伴い対面研修も検討している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約時にご家族からの情報を頂き、本人の話を伺いながら、出来る限り本人、ご家族の要望に添える様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	契約時にご家族からの心配事、不安な事、要望など耳を傾け、サービス内容をしっかり説明し確認をして頂き、都度日々の状況報告をしながら、情報の共有に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族、本人、職員を交えて話し合い、相談し、本人が必要とされている事、又家族が本人に対してどのような支援、サービスを求められているか等を考え見極めて支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活を他入居者、職員と常に家族と一緒にいる同じような雰囲気の中で、本人の好きな様に穏やかに過ごせる工夫を心掛ける。又野菜作り等を通して、職員が入居者の方に教えて頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の方と状況把握をし、話し合い相談し、本人にとって良好とする支援を考える。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナが緩和され、施設での外出に家族が参加して下さったが、個人ではまだ未定。面会は予約、時間制限はあるが開始している。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の性格、言動等把握し、楽しくレクリエーション等に参加できるよう職員が声掛け工夫しながら、コミュニケーションを心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後も家族・知人への紹介をしてもらったり、問い合わせや相談に応じている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の希望や家族の意向を取り入れ、協力を得ながら、満足して頂けるように対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、家族様にお聞きし、施設に面談に伺う際にはスタッフ、ケアマネから情報を頂き、職員全員で情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子の記録、申し送り、職員間での情報共有。 日々のバイタル、排泄チェック、食事量、毎月の体重測定で健康状態を把握している。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様それぞれの状態を確認し、ご本人、ご家族様、医師、職員、薬剤師、看護師、栄養士等と意見、助言、支援方法を考え、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに基づいて、支援の状況を個別で記録し、問題点等を話し合い、計画評価の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>緊急の場合や他科受診時には家族様の要望を踏まえて、可能な限り事業所で対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>可能な限り支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人やご家族様の希望するかかりつけ医になっており、協力機関による月2回の訪問診療や希望により歯科の訪問にも対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院に連絡体制を整え、NSに状態を報告、指示を仰ぐ。併設施設のNSにも対応してもらい訪問診療の際には担当NSも同席し、状態把握に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員が洗濯物を病院まで取りに行き、NSより状態を聞きながら、早期退院に努めている。GHでも情報共有しながら、ご家族と連絡、相談しながら退院に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に医療行為必要となれば、病院などと相談させて頂くこと説明。事業所で出来る限りの対応をさせて頂き、併設の老人保健施設等にも相談させて頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	併設施設にAED設置あり。急変時、事故発生時に備えてマニュアルを作成、Web研修にて各自確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防訓練を年2回実施。コロナ禍で書面での実施。今年度は実施訓練を予定。運営推進会議などで災害の話にも触れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自分の提供しているケアについては気付かない事もあり、同じ声掛け一つにしても、声のトーン等で受けとる印象が全く違うものとなることを認識していく必要がある為、職員間で声掛け行う様にしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	なるべく汲み取って、思いを実現させるようにしている。 発語のない方のうらにある思いを汲み取る為にスキルアップが必要である。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人様のその日のペースを保ちながら様子を見させて頂き、声かけを行い、希望に応じた支援が出来る様に心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2ヵ月に1度、訪問美容室に依頼。本人様の希望をもとにカットをお願いしている。 季節に合う衣類を整え提供し、外出時には一緒に選んだりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ひとり一人に合った量とバランス、その日の状態に合わせて考えている。 準備や片付けも、出来る方には声かけを行い手伝って頂く様にしている。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量の少ない方やご家族希望の方などを調節している。水分量が少ない方には1日の水分量を計測している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを行い清潔保持に努めている。ご家族希望にて訪問歯科の定期検診を受けておられる方もあり，口腔ケアについて指導頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレに行ける方は紙パンツではなく，布パンツを基本とし，定期的にトイレ誘導を行い自立支援している。パットの使用も職員で何度も検討行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>朝食時に毎日ヨーグルトを便秘時には牛乳を提供している。個別運動も取り入れ食材も考えている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週に2回個別に合った入浴を心がけている。服を職員と選んだり，入浴時の雰囲気や室温を大事にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	夜間は、入眠される時間は個々で違いテレビを観て頂いたり声掛け行っている。日中は、入居者の状態を把握しながら臥床して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	訪問薬剤管理指導の下薬剤師からの助言をもらい、情報共有し理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居時に本人、ご家族に生活歴を伺いケアプランに取り入れ支援している。職員だけでなくご家族にも協力頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍だった為、外出は行えていなかった。6月より外出も再開し、少ないが外食、外出している。地域の人々は近隣公園に行った際に挨拶程度である。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を所持されている方、希望されている方もおられない。		

自己評価	外部評価	項目(3階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人自ら電話されることはないが、家族の方からLINE電話、動画にてやり取りされている。 ハガキのやり取りもされている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	日々の温度調節をし、換気・臭いにも気をつけている。特にトイレの臭いには気をつけ常に掃除している。 季節には季節の花を飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	いつでもテレビが見られたり、好きな動画を見られたり居心地の良い環境を提供。気の合う方同士テーブルにて食事を行い、会話したり個々に好きなことをされ、笑顔で過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	昔使用していた物、思い出の物(家族の写真、アルバム)好きだった物、家族に協力して頂き、飾り付けや家具の配置をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安心して行動が出来るように、廊下、トイレ、浴室には手すりが設置されている。		

V アウトカム項目(3階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	よく見える場所に理念を掲示し、また、ネームの裏にも記載されており、繰り返し意識しながら実践し、自身の言動と理念を結びつけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で交流は出来てなかった。緩和されてからは、入居者様と公園や周辺を散歩がてら、草取りやごみ拾いを行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で認知症についての勉強会を行う予定である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	3月から運営推進会議を再開している。多くの方の意見や要望などを得て、サービスに活かしていきたい。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	推進会議で他の施設の対応や状況、実情を伺って参考にしている。コロナ発生時は密に連絡相談し指示を頂いた。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	Webで身体拘束の研修を受講し、理解を深め、身体拘束のないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	Web研修にて学習している。職員同士でお互いのケアを確認、注意しあっている。言葉遣いや表情、態度にも気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、後継人制度を必要とされている方はいない。支援が必要な方には情報提供している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書を読み上げ、内容を理解、納得された上で契約をしている。契約内容に変更があれば、再度同意の取り直しもしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談窓口、ご意見箱の設置をしている。意見や要望があれば、来苑時や電話連絡時に伺っている。入居者の方からは日々の会話から聴いたり、汲み取ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議や各階のカンファレンスで意見交換している。また、課題発生時には、その都度意見を出し、対応検討している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	時間外労働の削減、業務改善のため話し合い、働きやすい職場作りを心掛けている。個人の希望を出来る限り取り入れ、各自に応じた勤務の工夫をしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の業務実績や状況を把握し、研修や資格習得の機会を確保し、働きながら実践を勧めている。その為の勤務調整、情報提供を心掛けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	行っていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約時にご家族から情報を頂き、面談時にご本人へ要望の確認を行い、出来る限り本人、ご家族の要望に添えるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	契約時にご家族からの心配事、不安な事、要望など伺い、サービス内容をしっかり説明している。 また、日々の状況報告をしながら、情報の共有に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族、本人、職員を交えて話し合い、本人が必要とされて事、ご家族がご利用者に対しどのような支援、サービスを希望されているかを考え、見極めて支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活を他入居者、職員と共に家族と同じような雰囲気の中で、本人の好きなよう穏やかに過ごせるように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族と状況把握し、話し合い、本人にとって良好とする支援を考えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナも落ち着き多少の制限はあるが、面会や外出が出来るようになり、家族とのコミュニケーションをはかる事で絆が途切れない支援を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の脊尾格、好みに合わせ、声かけを行いながら、毎日レクリエーションをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居後も入居先や病院からの問い合わせや相談に応じ、支援を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人やご家族に意向を伺い、生活の中でも会話や表情などから個々の問題点を把握するように心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面談を行う際、ご本人とご家族から生活歴や暮らしを聞き、情報を把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の様子を申し送りや記録を見て利用者の情報の共有に努めている。健康管理や訪問診療で医療との連携も行っている。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	利用者やご家族の意向を中心に、介護職員・医師・薬剤師・栄養士等それぞれの助言や意見を取り入れ、支援方法を考え、ケアプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	プランに基づいた支援を行い記録し、定期的に話し合っ意見を出し合い、計画の見直しに活かすよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	病院受診の付き添いや必要な買い物サービスに応じている。また、散歩や行事の外出など、日常の楽しみをもって頂けるよう支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	公園の草むしりやふらっとサロンなどで地域との交流を行い、つながりをもてるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の訪問診療を受け、必要に応じて病院に連絡をし、受診や看護師の処置などを受け、適切な医療を受けて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	定期的に併設施設の看護師が健康管理にきている。 必要に応じて助言をもらい、病院受診をするようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、サマリー等書面でも情報交換し、お見舞いに行った時は病院の看護師から状態を聞き、相談しながら早期退院出来るよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に本人、家族と話出来る機会を設け、入居者の尊厳を大切に考え、家族への説明を十分に時間をかけて行い、医師、看護師、職員が連携をとって支援出来るよう努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	定期的に勉強会や研修を行い、全員が参加し訓練したり、疑問点などお互いが話し合い、対応力や実践力が身につくように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回火災訓練を併設施設と行うようにしている。町内会の方にも参加の声掛けをしている。 災害によっては避難所になる可能性もある。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの性格や状況に応じ、様々な接し方を試み、反応を確認しながら最適だと思う対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	思いや希望を話しやすい関係性や雰囲気をつくり、隠れた本音を引き出せるよう言葉かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの希望や、その日の調子に応じた支援が出来るよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みに合わせ、一緒に着る物を選んだり、体感温度や季節感を損なわないように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者が無理のない範囲でお手伝いして頂いたり協力を頂くことで、ご利用者のやりがいや存在意義を引き出せる声掛けをしている。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりに合った食事形態や量を把握、工夫して提供している。食事量や水分量はその都度チェックし、記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、個々に応じた声掛けや介助で、口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し，サインやタイミングを伺いながら，日中は全員トイレ誘導をしている。夜間おむつ対応の方も，可能であればトイレへ誘導し，オムツ内でなくトイレで排泄する気持ちよさを体感して頂いている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>薬ばかりに頼らず、水分や食事（野菜たっぷりの味噌汁を作り提供）、運動等で排便コントロールが出来るよう心掛けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間帯はほぼ決まっているが、拒否された場合は無理強いせず、別の日に入浴して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室の温度、湿度、掛物等を調節して、安眠できるよう環境を整えている。入居者様のお好きな時間に休んで頂いているが、昼夜逆転しないよう声掛けをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書をファイルして閲覧出来るようにしているが、スタッフ全員が副作用や用法について把握できていない面はある。いつもと違う状態の変化や症状には気を付けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	各々が得意な家事をしたり、歌やゲーム、計算プリント、動画の視聴等、お好きな事を楽しまれている。トランプやカルタは全員が一つのテーブルに集まり楽しむこともある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出が出来るようになり、職員と公園や近所に散歩に出かけ気分転換を図っている。6月には家族さん参加で、バラがたくさん咲いている緑町公園へ出かけ、一緒にお弁当を食べる事が出来た。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者様本人がお金を管理することが難しく、買い物は日常的に出来ていない。必要な物がある時には、ご家族様に確認し、職員が購入している。		

自己評価	外部評価	項目(4階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	LINEを利用し写真、動画を相互送信している。希望があればGHの電話で家族と会話される事もある。個人の携帯電話を使用される方もおられるが、使い方が分からなくなり、支援している。行事で暑中見舞いや年賀状を作成し、郵送したり、手渡したりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じて温度や湿度に気を付け各場所ごとに利用者にとって不快や混乱をまねくことのないよう配慮して居心地よく過ごせるように工夫している。又、生活感や季節感を採り入れるよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下の壁に利用者の製作品(塗り絵 折り紙)など、掲示板にはその時々々の行事写真を掲示しており、利用者同士で眺めながら談笑されている。テレビやタブレットで音楽を聴いて一緒に歌唱。体操もしており、体を動かすなど楽しめる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には本人が使用されていた家具、時計、テレビ、思い出の写真などを置き、自由に自分の好きなよう過ごして頂く様にしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自分の居室が分かるよう、入口に表札をつけたり、廊下、トイレ、あらゆる部分に手すりを設置。浴室など床や椅子が滑らないよう滑り止めマットを使用。明るく動きやすいようにしている。		

V アウトカム項目(4階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム春

作成日 令和5年10月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所目標に対しての振り返りが出来ていない。	目標の振り返りをし自己や組織の成長につなげる。	GHの全体会議にて半年に1回振り返りを行い、職員間で共有・意識していく。	2年
2	3	家族へ運営推進会議を把握して頂いておらず、意見の反映がされていない。	運営推進会議を通してGHを理解して頂き、サービスの質を向上させる。	会議内容を再度検討し開催の案内、参加を促す。議事録を閲覧出来るようにする。	2年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。